

へいあん
平安と
しよとうきょうかい
初等協会の
うた
歌



マックスは、
いつか
自分が持つ
家族を
思い出がきました。

きょうかい きかんし
教会機関誌

ルーシー・スティーブソン・
イーウェル

(ほんとうにあった話をもとに書かれました)

「愛の言葉の家に主は近し」(『子供の
歌集』103)

マックスは、いすにすわって体を前後に
ゆらしました。初等協会の中でマッ
スの大好きな時間が始まるようとしています。

「ようこそ歌の時間へ」とローズ姉妹が言いました。ピア
ノのえんそうが始まります。マックスはピアノに合わせて
歌いました。

歌の時間は大好きです。けれど、マックスの家庭は、初等
協会です。歌っているような幸せな家庭ではありませんでした。
家の中では大変なことがいろいろとありました。

だからこそ、マックスは初等協会が大好きなのです。こ
こにいるときは、マックスはいつも自分は愛されていて、安
全だと感じました。初等協会では平安を感じられました。

「次の歌では、みんなに特別なことをしてもらいます」
とローズ姉妹が言いました。「歌いながら、大人になっ
て自分の家族を持ったときのことを考えてみてください。」

ピアノのばんそうがふたたび始まりまし
た。その音色はやわらかく、おだや
かでした。マックスは部屋を見
回しました。かべにかけられ
たイエスの絵や神殿の写真が
見えます。

ほかの子供たちが歌い始め
ました。マックスも歌います。
あふれる神権の祝福とよろ
こび。

マックスは目とじ、自分がお父
さんになったと想像してみました。
未来の家族と一緒にいのっている

ところを思いうかべます。家族と一緒に歌い、一緒にゲー
ムをし、家庭の夕べをするところを想像しました。

最後の歌詞を歌うと、マックスはにっこりと笑顔になりま
した。愛の言葉の家に主は近し。

いつの日か、マックスはそんな家族を持つことができ
るでしょう。いつの日か、初等協会にいるときに感じるよう
な平安を感じる家庭を持つことができるでしょう。そんな
ことを考えていると、体中がぼかぼかと温かくなってきま
した。

マックスは手をあげました。「ローズ姉妹」とマックスは
言いました。「この歌は、なんかレシピみたいだと思いま
す。幸せな家族のレシピです。」

「そのとおりね」とローズ姉妹は言いました。「完全な家
族などありません。けれど、イエス様のようにならようと努力
をするとき、わたしたちは家族を助けることができます。
家庭を平安な場所にしよう努力ができます。」

マックスはかべにかかっている神殿の写真を見ました。
イエスのようになることで、今の家族を助けることができ
ると、マックスは思いました。そして、まだ遠い未来の話で
も、自分の家族を持つのがとても楽しみでした。そして、
その家族と永遠に一緒にいられると思うと、幸せを感じま
した。●

でんどうをおえたあと、マックスは神殿で結婚し
ました。今、マックスは最善を尽くして、自
分の家庭を家族のだれもが愛されていると
感じられる場所にするよう努力しています。

◆「わたしに従ってきなさい」
の教義と聖約 121 - 123 章
参照